

(平成 30 年 4 月試験研究業務月報)

試験研究課題：定置網漁業におけるクロマグロ小型魚の漁獲抑制に対応した改良網の開発

研 究

クロマグロ小型魚の漁獲抑制に向けた調査

絶滅が危惧される太平洋クロマグロを守るため、7月1日から国内のクロマグロ小型魚（体重 30 kg未満）の法的漁獲規制が始まります。そのため、可能な限りクロマグロ小型魚を逃がしつつ、同時に網に入るブリやアジなどを漁獲する技術開発が急務となっています。

クロマグロ小型魚のみを保護するために、定置網の一部を新たな網で仕切って他の漁獲物と獲り分けることを考えています。定置網のどの部位にどのような網を取り付けるかは、網内のクロマグロや他の魚の遊泳水深、行動などを調べる必要があります。そこで、4月10日に伊根町沖の水深約 50 m に設置された定置網において水中カメラで観察したところ、クロマグロは水深 20～30 m 付近を遊泳していることが明らかになりました。

今後も、引き続き調査を実施して、京都府の定置網漁に適した技術の開発に取り組み、クロマグロ保護と漁業生産を両立できるよう研究を進めます。



定置網内の水深 20 m で撮影されたクロマグロ小型魚